

2025 年度 大学院（修士課程）入学試験問題

1/2

（科目名：英語）

（文学研究科 全専攻共通）
2024 年 9 月 7 日（土）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※ 答えはすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(Adapted from International Student Services, University of Portland, <https://www.up.edu/iss/advising-services/american-values.html>)

問 1. “it” と “one” が意味するものを明らかにしながら、下線部①を日本語に訳しなさい。

問 2. 下線部② “This” が指す内容を本文に即して日本語で説明しなさい。

問 3. 空欄③に入る適切な単語を以下の中から選びなさい。

1. interest 2. appeal 3. devotion 4. efficiency

問 4. 下線部④、⑤を日本語に訳しなさい。

II. 次の英文を読んで、150 字以内の日本語に要約しなさい。(句読点も一文字とします。*の付いている語には注があります。)

【引用部分は削除しています】

(Allen, Bruce. Voices of the Earth. Shohakusha, 1998. pp.6-7.)

【注】 Amidst ～の最中に eventually ついに

III. 次の設問文を読んで答えなさい。

What is the most important change happening in the world today? State your opinion with reasons in English, using around 150 words.

2025 年度 大学院（修士課程）入学試験問題解答用紙

1/1

(文学研究科 全専攻共通)

2024年9月7日 (土)

(科目名：英語)

受審番号		氏名	
------	--	----	--

I. 問 1 .

①

問 2.

②

問 3.

問 4.

④

⑤

II.

[illegible]

III.

受験番号		氏名	
------	--	----	--

得点

（科目名：専門科目）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日（土）

一、次の漢文について、以下の設問に答えなさい。

（野線縦書の解答用紙一枚目に、設問番号を記して、答えを記しなさい。）

言①海者、從久遠已來、凡聖所修雜修雜善、川水、轉逆、謗闢、提恒沙無明海水、成本願大悲智慧、真実恒沙万徳大宝海水。喩之如海也。良知、如經說言②「煩惱水解成功徳水。」已上。願海者不宿二乘雜善中下屍骸。何況宿人天虛仮邪偽善業、雜毒雜心屍骸乎。…（中略）…然按本願一乘海、円融満足極速無礙絶対不二之教也。

設問（一） 全文を書き下し文（漢字かな交じり文）にしなさい。

設問（二） 全文を現代語訳しなさい。

設問（三） 傍線部①の「海」の比喻を通して、親鸞が明らかにした「本願一乘海」の解釈について、知るところを述べなさい。

設問（四） 傍線部②の「煩惱水解成功徳水」に関連して、親鸞が煩惱と菩提についてどのような教義を示しているか、知るところを述べなさい。

二、次の漢文について、以下の設問に答えなさい。

（野線縦書の解答用紙二枚目に、設問番号を記して、答えを記しなさい。）

源信広開一代教 偏帰安養勸一切
専雑執心判淺深 ①報化二土正弁立
極重悪人唯称仏 我亦在彼摄取中
煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我

設問（一） 全文を書き下し文（漢字かな交じり文）にしなさい。

設問（二） 全文を現代語訳しなさい。

設問（三） 傍線部①の「報化二土」について、親鸞はどのような教義を示しているか、知るところを述べなさい。

設問（四） 親鸞浄土教における源信浄土教の教理的影響について、知るところを述べなさい。

三、親鸞の示した念仏者の伝道の姿勢について、知るところを述べなさい。

（野線縦書の解答用紙二枚目に、設問番号を記して、答えを記しなさい。）

二〇三五年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 仏教学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

【問 一】 次の事項の中から一つを選び、解説しなさい。

- ① 中 道 ② 三 学 ③ 只管打坐

【問 二】 次の人物の中から一人を選び、解説しなさい。

- ① 龍 樹 ② 玄 奘 ③ 源 信

【問 三】 次の文献の中から一つを選び、解説しなさい。

- ① 『維摩経』 ② 『俱舍論』 ③ 『即身成仏義』

【問 四】 次の漢文を読んで、何が書かれているかを解説しなさい。

【引用部分は削除しています】

(『勝鬘経』巻五)

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 哲学専攻)

(科目名: 専門科目)

2024 年 9 月 7 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I 必須問題 1 (マス目横書き解答用紙を使用のこと)

以下について、哲学の歴史を踏まえて各々、150 字程度で答えよ。

- (1) 哲学は何を問うのか
- (2) 個人と社会の関係について

II 必須問題 2 (罫線横書き解答用紙を使用のこと)

次の英語を日本語に訳しなさい。

【引用部分は削除しています】

(*The Cambridge history of moral philosophy*, Cambridge, 2017 からの抜粋)

III 選択必須問題 (罫線横書き解答用紙を使用のこと)

以下から 6 つ選び、各々番号を記して、それぞれ 4 行程度で論じること。

- (1) プラトンの「死の練習」
- (2) エピクロス「静的快乐」
- (3) トマス・アキナス「意志の転倒」
- (4) デカルト「高邁」
- (5) ロック「自然法」
- (6) カント「純粋悟性概念」
- (7) アダム・スミス「公平な観察者」
- (8) ハーバーマスの「コミュニケーション的理性」
- (9) デリダ「脱構築」

二〇二五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024 年 9 月 7 日(土)

専門科目筆記試験(日本史学専攻) 一般入試問題(1/3)

I 次の(一)～(八)の論述問題から二題を選んで答えなさい。(選択した番号を明記すること)

- (一) 池上曾根遺跡について、論述しなさい。
- (二) 摂関政治について、論述しなさい。
- (三) 室町幕府の管領制について、論述しなさい。
- (四) 無一念打払令について、論述しなさい。
- (五) 真宗各派の大教院分離運動について、論述しなさい。
- (六) 戊申詔書について、論述しなさい。
- (七) 檀像彫刻について、狭義と広義の二つの解釈をふまえて論述しなさい。
- (八) 地球環境の変化の要因とそれが文化財建造物の劣化に与える影響、その対策について、論述しなさい。

二〇三五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名: 専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

専門科目筆答試験 (日本史学専攻) 一般入試問題 (2/3)

Ⅱ 次の(一)～(四)の史料問題から一題を選んで答えなさい。(選択した番号を明記すること)

(一) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

壬戌、^①嵯峨内相藤原朝臣仲麻呂等言、臣聞、旌功不朽、有国之通規、思考無窮、承家之大業、^②鑑尋古記、^③淡海大連宮御宇皇帝、天網聖君、聰明睿主、考正制度、創立章程、于時、功田一百町、賜臣曹相藤原内大臣、褒歟老臣宇内之績、世々不絶、伝至于今、爾來、臣等因藉祖勲、冠蓋連門、公卿奕世、方恐、富貴難久、榮華易凋、是以安不忘危、夕惕如厲、忽有不慮之間、風徒作逆、殆傾皇室、將滅臣宗、未報先恩、^④芝蘭幾敗、冀修冥福、長保顯榮、今有^⑤山階寺維摩會者、是内大臣之所起也、願主垂化、三十年間、無人紹興、此会中興、乃至藤原朝庭、鳳子太政大臣、傷機差之將墜、歎為山之未成、更発弘誓、追繼先行、則以毎年冬十月十日、始關陽筵、至於内大臣忌辰、終為講了、此是、奉養皇宗、住持仏法、引導尊靈、催勸学徒者也、^⑥伏願、以此功田、永施其寺、助維摩會、弘令興隆、遂使内大臣之進業、与天地而長伝、皇太后之英声、俱日月而遠照、天恩曲垂、儼允臣具、請、下主者、早令施行、不任微願、輕煩聖職、戰々兢々、臨深履薄、勅報曰、脩省表表、報德惟深、勸学津梁、崇法師範、朕与卿等共植茲因、宜告所司令施行、

(『続日本紀』天平宝字元年閏八月壬戌条)

問一 傍線部①の官職と人物について、説明しなさい。

問二 傍線部②の内容について、説明しなさい。

問三 傍線部③について、史料の記述をもとに説明しなさい。

問四 傍線部④を読み下し文(漢字仮名交じり文)にしなさい。

(二) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

(宝治元年六月)九日庚寅、晴、(中略)^①自關東飛脚到来、重時申子細、去五日前若狹守泰村(三浦景也)已擧旗打立、仍時頼參將軍家、亦遣打手等台駁、亦放火、風吹掩之間、泰村落了、^②各遁入頼朝卿裏堂、自營、巳午未三々時決勝負畢、泰村・光村一泰村(弟)以下三浦一族皆被誅了、惣自營之輩及三百人云々、森入道日来為^③時頼方敗、遂同意泰村、同被誅畢云々、去年以後泰村所構威勢、今以如此、日来有種々の巷説、不及信用之处、果以如此、(下略)

(葉書記)

問一 傍線部①を読み下し文(漢字かな交じり文)に改めなさい。

問二 傍線部②を転記して、訓点を施しなさい。

問三 傍線部③の「時頼」について、知るところを説明しなさい。

問四 右の史料全文を、現代語に訳しなさい。

二〇三五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

専門科目筆答試験 (日本史学専攻) 一般入試問題 (3/3)

(三) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

謹言上

① 瀬州一宮南宮社御朱印之儀、前々数代之御朱印者、慶長五年二石田治部少輔逆心之時、安国寺等之逆徒、南宮ノ中山ニ居陣仕、社内焼申候、焼失仕候。乱後二一ツ二証文拾出申候、東照権現様江訴訟申上候処ニ、御遺書ヲモ被為仰付、神體ヲモ御加増可被下之旨、御託被成候間、重而御朱印御取候而、可被下之由、大久保石見殿被仰、寺社法度書并御托紙被下、于今所持仕候、台應院様御代ニ、於伏見御朱印被下候へ、② 大僧正様ヲ奉頼、訴訟申上、御朱印可被下ニ相應申候。御朱印所々へ被下時分、相詰申社人相煩、不罷出候故、相違仕候、其後数度訴訟申上候得共、御次而無之由ニテ遅々仕候、南宮者御武運長久之軍神、御子孫御繁栄之尊神ニテ、別而天下之御祈禱所、無慮大社之儀ニ御座候間、今度御朱印頂戴仕候ニ、偏ニ所希候、已上、

寛永十四年三月 日

美濃南宮 橋本坊 (花押)

寺社中

御奉行所

(不破文書)

※台應院＝徳川秀忠、大信正＝南光坊天海

問一 傍線部①を読み下し文(選字かな交じり文)にしない。

問二 全文を現代語訳しない。

問三 傍線部②の人物について、知るところを記しない。

問四 文中の「石田治部少輔逆心」について説明しない。

(四) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

万民ヲ保全シ永世不朽之皇基ヲ確定スルハ固ヨリ万機公論ニ出ルニ在テ即御誓文之大本ニ依テ①引夏議政行政ノ御制度相立各府藩県ヨリ徴貢土之法御設相成候儀即御政体之通リニ候然処春來兵禍引続候ヨリ御誓文之御趣意或ハ未タ周達セサルモ有之候処当今追々四方鎮定亦前条之通広ク会議ヲ興シ万機公論ニ決スヘシトノ御趣意ヲ以公般改テ被仰出東京旧姫路邸ヲ以テ当分公議所ト御定相成來春ヨリ開議致シ候様被仰出候間各彼我之私見ヲ去リ公明正大之國典確立之处ニ熟議ヲ遂ケ御誓文之御趣意致貫徹候様御沙汰候事

但開議期日御規則等ハ追テ御沙汰可有之候事

③ 別紙之通被仰出候ニ付当年之儀ハ御暇下賜候間勝手次第帰藩可致候ニ來正月中無遅滞東京へ可罷出候様御沙汰候事 (中略)

諸藩公議人過日早々真下可致旨相違候処東京別紙之通被仰出候ニ付テハ來正月中罷下候様可致候尤未タ不差出藩々モ同様相心得正月中屹度差出可申候事

(明治元年一二月六日第一〇三五)

問一 傍線部①の「制度」の名称と内容について、述べなさい。

問二 傍線部②について、知るところを述べなさい。

問三 傍線部③をすべて平仮名で記しなさい。

問四 全文を現代語訳しない。

二〇三五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 東洋史学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

設問 次の問一・問二に答えなさい。

問一 アジア・北アフリカの社会・経済史に関して、①テーマを一つ設定し、②簡潔に論述しなさい。解答は一枚目の解答用紙に書き、問題番号を明記しなさい。

問二 次の文を、①書き下し文にし、さらに②現代日本語に翻訳しなさい。解答は一枚目の解答用紙に書きなさい。なお、一部の人名などに付す傍線は解答文には不要です。

韓伯字康伯、潁川長社人也。母殷氏、高明有行。家貧窶、伯年數歲、至大寒、母方為作襦、令伯捉熨斗、而謂之曰：「且著襦、暑當作複襦。」伯曰：「不復須。」母問其故。對曰：「火在斗中、而柄尚熱、今既著襦、下亦當煖。」母喜異之。及長、清和有思理、留心文藝。

(『晉書』卷七五、韓伯)

問三 次の二問から一つを選び、解答しなさい。二問目は別紙にある。

(1) 次の文を、①書き下し文にし、さらに②現代日本語に翻訳しなさい。解答は一枚目の解答用紙に書き、問題番号を明記しなさい。

禮部侍郎魏扶奏：「臣今年所放進士三十三人、其封彥卿、崔瑒、鄭延休等三人、實有詞藝、為時所稱、皆以父兄見居重位、不得令中選。」詔令翰林學士承旨、戶部侍郎韋瓘重考覆、敕曰：「彥卿等所試文字、並合度程、可放及第。有司考試、祇在至公、如涉請託、自有朝典。今後但依常例放榜、不得別有奏聞。」帝雅好儒士、留心貢舉。有時微行人間、採聽輿論、以觀選士之得失。

(『舊唐書』卷十八下、宣宗大中元年二月丁酉)

2025 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 東洋史学専攻)

(科目名: 専門科目)

2024 年 9 月 7 日 (土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問三

- (2) 次の英文を現代日本語に翻訳しなさい。解答は 2 枚目の解答用紙に書き、解答用紙に問題番号を明記しなさい。

【引用部分は削除しています】

Paul E. Walker, "Titles of Honor and Status in the Fatimid Realm," in: Robert Haug and Steven Judd (eds.), *Islam on the Margins: Studies in Memory of Michael Bonner* (Leiden and Boston: Brill, 2023), p. 271 (一部変更) .

二〇二五年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号

氏名

2024年9月7日(土)

◎設問は「一」と「二」があります。両問とも解答しなければなりません。解答はすべて解答用紙に書きなさい。

「一」左の【A】～【D】から問題を一つ選んで解答しなさい。ただし、あなたの研究分野が古典文学の場合は【A】を、近代文学の場合は【B】を、情報出版学の場合は【C】を、日本語学の場合は【D】を、かならず選択しなければなりません。

【A】左の文章Ⅰは、『建礼門院右京大夫集』の一節です。作者が、かつて仕えた建礼門院に会うために大原を訪れた場面です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

Ⅰ

女院^①、大原におはしますとばかりは聞き参らずれど、さるべき人に知られでは参るべきやうもなりしを、深き心をしるべにて、わりなくてたづね参るに、やうやう近づくまに、山道のけしきより、まづ涙は先だちていふかたなきに、御座のさま、御すまひ、事がら、すべて目もあてられず。昔の御ありさま見参らせさむだに、おほかたの事がら、いかが事もなめならむ。まして、夢うつつともいふかたなし。秋深き山おろし、近き木末に響きあひて、かけひの水のおとつれ、鹿の声、虫の音、いづくものことなれど、ためしなき悲しさなり。都は着の錦をたちかきぬてさぶらひし人々、六十余人ありしかど、見忘るるさまにおとろへたる墨染めの袴してわづかに三四人ばかりぞさぶらはる。その人々にも、さてもやとばかりぞ、われも人もいひいでたりし。むせぶ涙におぼれて、言も續けられず。

今や夢昔や夢とまよはれていかに思へどうつとぞなき

A あとぞ見し昔の雲の上の月かかる深山の影ぞ悲しき

*女院Ⅱ建礼門院。平清盛女。高倉天皇中宮。出家後、大原寂光院に入つた。

*大原Ⅱ現在の京都市北東部にある地名。周囲を山々に囲まれ、通世者が多く入る隠棲の地であつた。

問一 傍線部①「大原におはしますとばかりは聞き参らずれど」を品詞に分けて、品詞名・活用形・意味を記しなさい。

問二 傍線部①について、品詞に注意しながら現代語訳しなさい。

問二 波線部アイウの主旨を答えなさい。

問三 傍線部②「いづくものことなれど、ためしなき悲しさなり」とありますが、どういうことが、わかりやすく説明しなさい。

問四 傍線部③「見忘るるさまにおとろへたる墨染めの袴」とは、誰のどのような姿ですか。わかりやすく説明しなさい。

問五 和歌Aの「昔の雲の上の月」「かかる深山の影」は比喩ですが、それぞれ何を比喩していますか。説明しなさい。

問六 建礼門院が大原に入つた背景について、知っていることを述べなさい。

問七 左のⅡは、『建礼門院右京大夫集』の一節です。これを、一行文字数、行数も元のままに、漢字は漢字に、仮名は仮名に転写しなさい。

Ⅱ

大原におはしますとばかりは聞き参らずれど、
さるべき人に知られでは参るべきやうもなりしを、
深き心をしるべにて、わりなくてたづね参るに、
やうやう近づくまに、山道のけしきより、
まづ涙は先だちていふかたなきに、
御座のさま、御すまひ、事がら、すべて目もあてられず。
昔の御ありさま見参らせさむだに、
おほかたの事がら、いかが事もなめならむ。
まして、夢うつつともいふかたなし。
秋深き山おろし、近き木末に響きあひて、
かけひの水のおとつれ、鹿の声、虫の音、
いづくものことなれど、ためしなき悲しさなり。
都は着の錦をたちかきぬてさぶらひし人々、
六十余人ありしかど、見忘るるさまにおとろへたる
墨染めの袴してわづかに三四人ばかりぞさぶらはる。
その人々にも、さてもやとばかりぞ、われも人もいひいでたりし。
むせぶ涙におぼれて、言も續けられず。

二〇三年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

【B】左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(伊藤整『近代日本の文学史』より)

- 問一 傍線部①「戦前からの私小説」のうち一作品の作者名とタイトルを記し、その作品の梗概を記しなさい。
- 問二 傍線部②「戦後さらに発展して『風俗小説』と呼ばれる」とありますが、一九五〇年に『風俗小説論』(河出書房)を発表した文学評論家の名前を記しなさい。
- 問三 傍線部③「自然主義文学にある身辺的写実性と現世離反性」について、作品名を例として挙げながら具体的に説明しなさい。
- 問四 傍線部④「硯友社」に所属した作家三名の名前と、彼ら硯友社の活動の拠点となった雑誌の名前を記しなさい。なお、それぞれすべて漢字で記すこと。
- 問五 傍線部⑤「昭和初年のモダニズム文学」について、知るところを述べなさい。
- 問六 傍線部⑥「マルクス主義文学」について、知るところを述べなさい。なお、ここではマルクス主義文学とプロレタリア文学を同義と見なして解答してもかまわない。

二〇三五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

【C】 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(小笠原恭子『都市と劇場 中 近世の鎮魂・遊楽・権力』(平凡社選書)による)

問一 傍線部①「伊原青々園」は人名です。よみを記し、この人物について知るところを述べてください。

問二 傍線部 a) e) の語のよみをひらがなで記しなさい。

問三 (A) には、関根貞誠の著書で、稿本は関東大震災で焼失しましたが、大正期に珍書刊行会・演芸圖書同好会によって出版されたため、全体を知ることのできる著作の名称が入ります。一九八三年に国立劇場が「歌舞伎資料選書」のひとつとして編集・再刊した際の書名を記しなさい。

問四 (B) には、歌舞伎の創始者とされる芸能者の名が入ります。その名を記しなさい。

問五 傍線部②「江戸における寄居町」とありますが、江戸時代の江戸で公許を受けた、演劇の劇場の興行体制について知るところを述べてください。

問六 傍線部③「勧進興行」とありますが、これは中世、とくに南北朝以降しばしば芸能で行われるようになる興行の形態です。これについて知るところを自由は述べてください。

二〇二五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

【D】 次の各問に答えなさい。

問一 次の①～④の単音について、一般に日本語で用いられるものに相当する音声記号を書きなさい。

- ① 無声両唇摩擦音 ② 有声両唇摩擦音 ③ 無声歯茎破裂音 ④ 有声歯茎閉鎖音

問二 次の①～⑤の用語について、例を挙げて説明しなさい。

- ① 連声 ② 臭言 ③ 語基 ④ 格助詞 ⑤ 可能動詞

問三 次の①～④について、説明しなさい。

- ① 「通時態」と「共時態」
② 大槻文彦の日本語学の業績
③ 上代特殊仮名遣い
④ 『和英語林集成』

二〇三五年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年9月7日(土)

(二) 左の①～⑧の中から三つの項目を選択し、それぞれについて論述しなさい。そのうち二つは、あなたの研究分野の項目をかならず選択しなさい。解答にあたっては、選択した項目の番号を冒頭に明記しなさい。

- ①【古典文学】 平安時代前期の日記文学
- ②【古典文学】 鴨長明とその作品
- ③【近代文学】 言文一致体
- ④【近代文学】 無頼派(新戯作派)
- ⑤【情報出版学】 唐話学と書肆
- ⑥【情報出版学】 合巻
- ⑦【日本語学】 熟字訓
- ⑧【日本語学】 江戸時代の蘭学が日本語学に与えた影響